

生産性向上の取り組み（日本エルダリーケアサービス）

取り組み内容	
社員向けe-ラーニングシステムの変更により「見る学習」から「体験型の学習」へ。“テラススタジオ”の導入により操作性の向上、受講意欲の促進。	
▽ スマホ対応により事業所PCを借りる手間なく、いつでも自分のペースで受講が可能に	
▽ 操作性の向上によりスムーズな受講を促進	
▽ 必須研修がもれなく受講できる画面構成	▽ 理念行動指針等のスムーズな共有と徹底

困っていたこと（取り組みの理由）
<ul style="list-style-type: none"> ・ソラスクールは操作がしにくいことから、自分に必要なコンテンツやテキストが探せない状態になっていた。 ・管理者側の操作についても受講の進捗管理ができなかった。 ・PC環境の学習をメインに作られていることから、事業所PCでの受講には同時に受けられる人数が限られていた。

課題解決のプロセス（手順）	取り組み時のポイント・工夫
<p>社員向けe-ラーニングシステムを変更した。研修環境を改善することにより、職員がどこでも主体的に学べる環境を整備した。</p> <p>①課題の特定 全社員向けに現状使用している研修サイトの使用感についてアンケート(回答数約3,000名)を行い、研修受講に関する課題を洗い出した。</p> <p>②新規e-ラーニングシステムの検討 複数のe-ラーニングシステムを比較し、洗い出した課題の改善に繋がる内容や機能が備わっているか検討するとともに、導入するにあたって必要な手順を検討した。</p> <p>③試験導入による実証・展開 どのような使用感になるか一部の部署から試験運用を行った。これまでのe-ラーニングシステムと状況を比較し、社内全体へ展開した。</p> <p>④使用状況の定期的な確認 より良い学習環境整備のため、新しく導入したe-ラーニングシステムの使用状況について全職員にアンケートを行い、次の改善策を検討する。</p>	<p>「e-ラーニングを見て学習してね」だけじゃない!!!</p> <p>② 研修を受講するまでの一連の作業を確認し、操作が煩雑でないか、目的の研修を探しやすいか等、一つの研修を受講するためのハードルを下げられるシステムを検討した。 また、課題点の網羅だけでなく、与えられた研修以外も容易に検索し受講できる機能があることや、受講者間での情報共有ができる機能のあるシステムに変更することで、受講者がどこでも主体的に学べ、かつ他の参加者との一体感がある中で学べる環境になった。 管理面においても、事業所の管理者等の管理する側が各職員の受講進捗を短時間で確認・リマインドできるかを検討した。</p> <p>③ 新たにアプリのダウンロードすることへの抵抗が懸念されたため、担当者とのコミュニケーションが取れる環境を用意した。</p>

成果
<p>【量的な効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは本部で進捗状況をまとめて事業所へ配信し、管理者を通じて職員へ受講するように声掛けを行うという手間があったが、テラススタジオへの変更により、職員へ直接未受講のリマインドができるようになった。 ・トップ画面から必須コンテンツとして受講しなければならない研修が分かるため、該当の研修を探す手間がなくなった。 <p>【質の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の職員の感想を閲覧でき、メッセージ送信もできるため、事業所内だけでなく他事業所の職員との情報交換により学びの幅が広がり、受講意欲が促進された。 ・研修後にテストが実施されることで、知識の定着と確認ができる。

今後
<ul style="list-style-type: none"> ・成果で得た時間、研修による知識、理念を元に介護サービスでご利用者に向き合う時間に充てることで、質の向上につなげていく。